

2024年8月14日

各 位

株式会社リボミック
(コード番号:4591 東証グロース)

The International Skeletal Dysplasia Society 国際会議での 登壇発表のお知らせ

このたび、2024年9月にマドリッド(スペイン)で開催予定の ISDS(International Skeletal Dysplasia Society)^{註1}国際会議において、当社の umedaptanib pegol (RBM-007)を用いた軟骨無形成症(achondroplasia, ACHと略)に対する非臨床ならびに臨床試験^{註2}に関する論文が口頭発表に採択され、代表取締役社長 中村義一が登壇いたしますのでお知らせいたします。

会期：2024年9月18-21日

会場：NH Madrid Eurobuilding Hotel

題名：Preclinical and clinical study of umedaptanib pegol (anti-FGF2 aptamer) in achondroplasia (umedaptanib pegol (抗 FGF2 アプタマー)を用いた軟骨無形成症に対する非臨床ならびに臨床試験)

URL：<https://isdsmadrid2024.com/index.php?go=inicio>

^{註1} 1999年にチューリッヒ(スイス)で設立された骨格形成不全および骨格異形成の分野における科学的進歩を促進する目的の国際的な組織です。2年おきに開催される年次総会では、ACH を始めとする骨格形成不全の疾患に関する薬理学的、遺伝学的、生化学的、医学的研究、ならびに医薬品開発や臨床研究等の進歩が発表され、当該分野では世界で最も権威ある研究集会の一つとなっております。その登壇発表の機会を得ることは容易ではありませんが、当社の非臨床ならびに臨床試験への取組みが評価されたものと考えております。

^{註2} ACH 小児患者(5~14 歳)を対象とする前期第 II 相臨床試験においては 13 名の患者の組み入れが完了しております。また、低用量の皮下投与群(コホート 1 ^{註3})6 名のうち、すでに5名の投与が完了して 10月末までにすべての投与が完了する予定です。本試験はオープン試験なので、その結果は 11 月に明らかになる予定です。

^{註3} 0.3 mg/kg の用量で2週間に1回、8週間(計4回)の皮下投与を実施し、安全性・忍容性を確認した後、投与間隔を1週間に1回に変更し、26週間投与する試験群(投与期間は計34週間)。

以上

【本件に関するお問い合わせ先:財務経理部 <https://www.ribomic.com/contact.php>】